

視覚障害者誘導用ブロックの 敷設方法に関する調査研究

報告書

平成22年3月

国土交通省

視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法に関する調査研究

委員会 委員

(敬称略・五十音順)

- 委員長 ○田内 雅規 岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科 教授
青松 利明 国立大学法人筑波大学附属視覚特別支援学校 教諭
秋山 哲男 前 首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授
○有山 伸司 東日本旅客鉄道株式会社鉄道事業本部設備部 担当部長
○石島 徹 国土交通省総合政策局安心生活政策課交通バリアフリー政策室 室長
内田 富雄 経済産業省産業技術環境局環境生活標準化推進室 室長
○加藤 俊和 社会福祉法人京都ライトハウス情報ステーション 所長
川口 泉 国土交通省鉄道局技術企画課 課長補佐
木瀬 貴晶 社団法人建築業協会事業部 参事
○笹川 吉彦 社会福祉法人日本盲人会連合 会長
○白井 清広 国土交通省総合政策局安心生活政策課 政策企画官
高橋 儀平 東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 教授
○田中 徹二 社会福祉法人日本点字図書館 理事長
○並木 正 弱視者問題研究会 代表
三谷 誠二 独立行政法人製品評価技術基盤機構製品安全センター標準技術課 主査
村上 強志 国土交通省鉄道局鉄道業務政策課 課長補佐
(平成 21 年 9 月まで)
菅原 晋也 国土交通省鉄道局鉄道業務政策課 課長補佐
(平成 21 年 10 月より)
宿本 尚吾 国土交通省住宅局建築指導課 企画専門官
(平成 21 年 9 月まで)
宮本 和宏 国土交通省住宅局建築指導課 課長補佐
(平成 21 年 10 月より)

○：ワーキンググループメンバー

(事務局)

交通エコロジー・モビリティ財団 (バリアフリー推進部)

財団法人鉄道総合技術研究所 (人間科学研究部)

目 次

1. 調査研究の目的と検討事項	
1.1 目的	1
1.2 検討事項	1
1.3 検討方法	4
2. 階段における視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法に関する調査	
2.1 調査概要	5
2.2 実態調査	
2.2.1 観察調査	5
2.2.2 ヒアリング調査	17
2.2.3 実態調査のまとめ	19
2.3 公共空間における調査	20
2.4 模擬施設内における実験	
2.4.1 階段の上下端部の点状ブロックの必要性等の検証	28
2.4.2 踊り場の長さとの視覚障害者誘導用ブロックの必要性の検証	36
2.5 2章のまとめ	40
3. 可動式ホーム柵等が設置されたホームにおける視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法に関する調査	
3.1 調査概要	42
3.2 駅施設および模擬施設内における調査	
3.2.1 ヒアリング調査	42
3.2.2 駅施設における実験	46
3.2.3 模擬施設内における実験	54
3.3 3章のまとめ	58
4. まとめ	
4.1 階段における視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法	59
4.2 可動式ホーム柵等が設置されたホームにおける視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法	62
4.3 その他の検討項目に係る敷設方法	63
5. おわりに	66
参考資料	
参考資料 1 被験者の属性一覧	69
参考資料 2 写真	74
2.1 東京都交通局三田駅における調査	
2.2 首都圏新都市鉄道(株)／関東鉄道(株)守谷駅付近の階段における調査	
2.3 (財)鉄道総合技術研究所における駅シミュレータの実験	
2.4 首都圏新都市鉄道(株)みらい平駅における実験	
2.5 (財)鉄道総合技術研究所における可動式ホーム柵等の実験	
参考資料 3 視覚障害者の歩行特性測定(モーションキャプチャ)	79

視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法に関する調査研究
報告書

平成 22 年 3 月発行
国土交通省総合政策局安心生活政策課
〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3
電話：03-5253-8111（代表）
FAX：03-5253-1552
